

# 優しいタッチ 見る人の心を魅了

八幡作業所に通いながら絵画制作を行う坂本全広さん(39)の作品展が、4月2日から軽食・喫茶「おいでやすコスモス103」で開催されています。

坂本さんは18歳の頃に急性硬膜下血腫を患い、身体や言語が不自由になりました。リハビリの一環で子どもの頃から好きだった絵を本格的に描き始め、今では定期的に作品展にも出品しています。

店内にはアルゼンチンで訪れた聖母ビニール聖堂や、かわいらしいテナガザルなど5点の作品が飾られています。どの作品も優しいタッチで描かれていて、見る人の心を魅了していました。



絵に色を添える坂本さん

## 坂本さん作品展 おいでやすコスモス103



聖母ビニール聖堂の作品

坂本さんは「訪れた人は、コーヒーなどを飲みながら、絵を見て和んでもらえれば」と話していました。

展示は5月7日まで(日、月、祝日休み) 午前11時30分～午後3時。

# 色とりどり 庭園を彩る

## 第25回松花堂つばき展

4月5日～7日の3日間、松花堂庭園・美術館などの主催で「第25回松花堂つばき展」が松花堂庭園で開催されました。6日、7日はあいにくの雨となりましたが、庭園で咲き競う600種を超える椿を見ようと、たくさんの方が訪れました。

園庭では、主役の椿が細工をほどこした真竹を花器にして飾り付けられていて、椿の花の色がより一層映えていました。

屋内の展示会場では、椿をデザインしたステンドグラ

ス越しに淡い光が椿を照らし、屋外の椿とは違った雰囲気演出していました。

また茶室では、椿を模した茶菓子と茶碗でお抹茶を頂くこともでき、来場者は椿づくしの茶席を満喫していました。

最終日に家族と一緒につばき展を訪れた湯川順子さんは「雨に濡れた竹の緑色が椿の色を一層引き立てていてすごく綺麗でした。また来年も楽しみにしています」とこやかに話していました。



椿を楽しむ来場者

# まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

## みんなで守る交通ルール

南山小1年生 模擬コースなど体験

点を説明。

八幡警察署員による交通教室が4月19日、南山小学校で行われました。1年生55人が模擬コースなどを体験しながら、交通ルールや不審者対策を学びました。

同教室は、自分たちだけでの下校が始まったのを機会に、安全に登下校できるようにすることなどが目的です。

署員は「止まる・待つ・飛び出さない、のトマトの約束を守って」など、道を歩く時や横断する時の注意

その後、子ども達は見通しの悪い交差点を再現した模擬コースに挑戦。交差点で一旦停止し、前後左右から車が来ていないことを確認してから、しっかりと手をあげて道を渡っていました。

最後に、不審者になった署員に対し、「行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる」と元気づけに「いかのおすし」の約束をしていました。



手をあげて道を渡る1年生

# 練習の成果を披露



大トリの八幡市民吹奏楽団による演奏

4月20・21日、男山公民館で「第13回男山公民館サークルまつり」が行われました。

同まつりは、地域住民の交流を目的に、毎年3月に行われていました。しかし今回は、男山公民館の改修工事が3月末で完了したことに伴い、4月開催となりました。

会場では、書道や絵画などの展示の他、21日には舞台発表も行われ、たくさんの方でにぎわいました。

舞台発表は、男山第三中学校吹奏楽部の演奏で幕が開き、詩吟や

## 第13回 男山公民館サークルまつり

大正琴、オカリナなど様々なサークルが日頃の練習の成果を披露しました。

大ト리를務めた八幡市民吹奏楽団が「世界に一つだけの花」や「明日があるさ」などを美しい音色で演奏すると、観客から大きな拍手が送られ、盛況のうちに幕を下ろしました。

同吹奏楽団の澤田正和さんは「こういった発表の場があると、団員もやる気が出ますよね。なにより私達も楽しいです」と笑顔で話していました。